

北見工業大学学報

第 310 号 (2022 年 3 月号)

目 次

学位記授与式	令和 3 年度学位記授与式を举行……………	3
告 辞	令和 3 年度学位記授与式告辞……………	4
入 試	令和 4 年度大学院入学試験(第 2 回)を実施……………	6
	令和 4 年度工学部一般選抜を実施……………	7
人 事	人事異動……………	8
受 賞	本学大学院生が日本光学会北海道支部学術講演会発表奨励賞を受賞……………	15
	本学大学院生が第 31 回化学工学・粉体工学研究発表会において 学術奨励賞を受賞……………	16
	機械電気系の兼清泰正准教授が石本記念デサントスポーツ科学 振興財団学術研究募集で最優秀入選……………	17
	本学大学院生が一般社団法人表面技術協会第 144 回講演大会で 第 10 回学生優秀講演賞を受賞……………	18
	応用化学系の小西正朗教授が化学工学会 2021 年度フェロー表彰 を受賞……………	19
	本学大学院生が令和 3 年度土木学会北海道支部技術研究発表会 において優秀学生講演賞を受賞……………	20
	本学大学院生が令和 3 年度地盤工学会北海道支部賞(学生部門) を受賞……………	21
	本学学生が電気学会北海道支部賞を受賞……………	22
	本学大学院生が電子情報通信学会北海道支部学生奨励賞を受賞……………	23
諸 報	SAFER の白川龍生准教授が札幌市内の積雪調査を実施……………	24
	学生表彰式を举行……………	25
	事務職員のための講演会を実施……………	26
	JA つべつとの連携協力に関する基本協定を締結……………	27

	FD・SD 講演会を開催	28
	CAFFÈ 年報第 2 号を発行	29
	SAFER 年報第 2 号を発行	30
目 誌	2 月・3 月	31

= 学位記授与式 =

令和3年度学位記授与式を挙行

(総務課)

3月18日(金)午前10時から、北見市民会館で令和3年度学位記授与式を挙行しました。

学部380人の卒業生、大学院工学研究科博士前期課程97人、同博士後期課程7人の修了生に対し、鈴木聡一郎学長から学位記が授

与されました。

卒業生・修了生を代表し、地域未来デザイン工学科社会インフラ工学コースの稲木万玲さんが答辞を読み上げ、学位記授与式は無事終了しました。令和3年度の卒業生、修了生の人数は下表のとおりです。

学 部

学 科 名	卒業生数 (人)
地球環境工学科	172
地域未来デザイン工学科	190
機械工学科	4
社会環境工学科	4
電気電子工学科	7
情報システム工学科	1
バイオ環境化学科	1
マテリアル工学科	1
合 計	380

大学院博士前期課程

専 攻 名	修了者数 (人)
機械工学専攻	20
社会環境工学専攻	19
電気電子工学専攻	19
情報システム工学専攻	9
バイオ環境化学専攻	8
マテリアル工学専攻	22
合 計	97

大学院博士後期課程

専 攻 名	修了者数 (人)
生産基盤工学専攻	3
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	3
医療工学専攻	1
合 計	7



学位記授与



卒業生の稲木さんによる答辞

= 告辞 =

令和 3 年度学位記授与式告辞

学部卒業生、ならびに大学院修了生の皆さん、この度の学位取得は誠にありがとうございます。本学に入学して以来、多くのことを学び、研究に打ち込んだ努力の成果として、学位記を授与されましたこと、北見工業大学の教職員を代表し、心からお祝いをいたします。

本日、晴れて学士の学位を取得した方は380人、修士の学位は97人、博士の学位は7人の方が取得いたしました。この中には29人の留学生が含まれています。この学位記授与に至るまでに、皆さんは多くの困難に立ち向かい、それを乗り越えてきたことと思います。そんなとき、皆さんをサポートしてくれた指導教員や研究室の仲間、陰で支えてくれたご家族や友人など、周囲のさまざまな協力と支援があつてこそ成し得たのだということを決して忘れないでいただきたいと思います。この経験を今後の人生に大いに活かして頂けるよう、心から願っています。

今年度の学位記授与式は、卒業生、修了生だけの出席に限定しましたが、3年ぶりに北見市民会館で実施することができました。新型コロナウイルスの感染拡大が未だ終息の兆しを見せない中、北海道ではまん延防止等重点措置の実施期間が延長され、ご家族をはじめ、皆さんがこれまでにお世話になった方々に、直接皆さんの晴れ姿をお見せできないことは、大変残念に思います。

さて、拡大し続けている新型コロナウイルス感染ですが、皆さんはこの状況をどのように捉えているのでしょうか。中国湖北省武漢市で最初の感染が報告されて以来、感染は瞬く間に全世界に広がりました。およそ100年前のスペイン風邪では、世界人口のおよそ30%の人々が感染し、4000万人の

死者が出たと言われていました。現在の感染状況より遥かに多い数字となっていますが、拡大のスピードは、スペイン風邪と比較にならないほど速くなっています。100年前に感染を広めた原因は、第1次世界大戦での国を跨いだ兵士の移動であると言われていたのですが、今回の急速な感染拡大は、経済のグローバル化がヒトやモノの流動性を高めたことが大きな原因であると考えられています。世界各国が国際競争力向上を目指し、人間社会が過度に富を追求した結果が、急速な感染拡大を招いてしまったとも言えるのではないのでしょうか。未だに感染症対策と経済的な復興対策の狭間で揺れ動いている社会を見るにつけ、人間の無力さを感じざるを得ません。

しかし、その一方で「グローバリゼーションによって、新型コロナウイルスの被害を現状に止めることができている」とも考えられます。感染拡大を受け、世界各国で新型コロナウイルスのゲノム解析が進められ、解析結果は迅速に情報共有され、各国の製薬会社を中心にワクチンや治療薬の開発が始まりました。さらに承認されたワクチンは、短期間で世界各国に供給されることになりました。グローバル化が進んでいなければ、被害がより激甚化していたのは明らかです。見方を変えれば、新型コロナウイルスから、グローバルな信頼関係をどの程度構築することができるか、人間社会の能力を試されているのではと感じます。

これは、感染症だけの問題に止まりません。世界各地で過去に経験のない自然災害が多発しています。これも大局的見地から、経済を最優先した人間の営みが地球規模で環境を破壊し、新たな災害を生み出している状況だと言えるのではないのでしょうか。急速に進んできたグローバル化や地球環境

の破壊は、科学技術の発展が加速してきたものです。工学分野で教育・研究に従事している我々は、このような事態に目をつぶるわけにはいきません。脱炭素によるグリーン社会の実現や DX 推進による社会の構造改革によって、自然と共存する社会の実現を目指すことを、重要なミッションとして捉える必要があると考えます。

皆さんにお伝えし、心に刻んでいただきたいことは、このような教訓を無駄にせず、広い視野で多角的に社会的課題を捉え、磨き上げた高い応用力でその解決に取り組む技術者を目指していただきたい、そして身に付けた技術や知識だけに頼らず、知性を磨き、物事を正しく判断することに努め、社会で活躍頂きたいということです。

これから社会人となる皆さん、進学する

皆さんには、急激な社会の変革に呑み込まれることなく、確かな信念の基、真に人間社会に貢献できるよう、ご成長頂きたいと切に願っています。そして、東京、北京で開催されたオリンピック、パラリンピックで活躍したメダリスト達がロ々にコメントしたように、周囲への感謝を忘れることなく、未来に向けて正しく社会を先導する人になってください。

この度の学位記授与、そして新たな門出を祝い、卒業生・修了生皆さんの益々のご活躍を祈念いたしまして学長告辞といたします。

令和4年3月18日
学長 鈴木 聡一郎

= 入試 =

令和4年度大学院入学試験（第2回）を実施

(入 試 課)

令和4年度大学院工学研究科博士前期課程入学試験（第2回）を2月9日（水）に実施しました。各専攻の合格者数等は下表のとおりです。

また、令和4年度大学院工学研究科博士後期課程入学試験（第2回）を2月8日（火）に実施しました。各専攻の合格者数等は下表のとおりです。

博士前期課程

専攻名	募集区分		ユニバーサル コース入試		外国人留学生 特別入試		高等専門学校 専攻科生特別入試		学部3年次学生 対象入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
工 学 専 攻	11	11	0	0	8	5	0	0	0	0

博士後期課程

専攻名	募集区分		社会人入試		外国人留学生 入 試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
生産基盤工学専攻	2	2	0	0	2	2
寒冷地・環境・エネルギー 工学専攻	1	1	1	1	0	0
医療工学専攻	0	0	1	1	1	1
合 計	3	3	2	2	3	3

令和4年度工学部一般選抜を実施

(入 試 課)

令和4年度工学部一般選抜について、1月24日(月)から2月4日(金)までの願書受付期間内に前期日程500人、後期日程1262人の出願がありました。

前期日程は3月6日(日)に合格者を発表し、後期日程は3月12日(土)に個別学

力検査を北見会場、札幌会場、東京会場及び大阪会場で実施し、3月20日(日)に合格者を発表しました。合格者数等は下表のとおりです。

前期日程

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
地球環境工学科	72	211	150
地域未来デザイン工学科	81	289	147
合 計	153	500	297

後期日程

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
地球環境工学科	62	520	108
地域未来デザイン工学科	71	742	101
合 計	133	1262	209

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
4. 3. 31	理事・副学長	川村 彰	任期満了退職
〃	工学部機械電気系教授	田村 淳二	定年退職
〃	工学部機械電気系助教	仲村 宏一	定年退職
〃	副学長・事務局長	三枝 広人	定年退職
〃	財務課長	久田 貢	定年退職
〃	総務課高度専門職(広報戦略担当)	斉藤 靖子	定年退職
〃	技術部副部長	山根 美佐雄	定年退職
〃	技術部技術専門員	堂田 誠治	定年退職
〃	機械電気系准教授	橋本 泰成	退職
〃	社会環境系准教授	川尻 峻三	退職
〃	戦略企画室長	川村 優	退職(文部科学省へ転出)
〃	情報図書課係長	栗田 とも子	退職(北海道大学へ転出)
〃	総務課事務職員	牧野 華子	退職(文部科学省へ転出)
〃	総務課事務職員	安藤 ひかる	退職
4. 4. 1	学長	鈴木 聡一郎	大学総括理事及び北見工業大学長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	副学長・工学部情報通信系教授	柴坂 俊雄	副理事、副学長、学術情報機構長及び図書館長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	副学長・工学部社会環境系教授	渡邊 康玄	オープンイノベーションセンター長、副学長及び学術推進機構長(任期:令和6年3月31日まで)

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
〃	副学長・工学部情報通信系教授	平山 浩一	副学長、教育支援機構長及び学生教育支援センター長(任期:令和6年3月31日まで)、キャリアアップ支援センター長(任期:令和5年3月31日まで)
〃	工学部社会環境系教授	川口 貴之	副学長、プロジェクト研究推進センター長及び環境安全センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部応用化学系教授	村田 美樹	副学長及びアドミッションセンター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部応用化学系教授	川村 みどり	学長補佐(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部社会環境系教授	山下 聡	学長補佐(任期:令和6年3月31日まで)
4. 4. 1	工学部地域国際系教授	内島 典子	学長補佐(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部社会環境系教授	南 尚嗣	学長補佐及び環境・エネルギー研究推進センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部情報通信系教授	榊井 文人	冬季スポーツ科学研究推進センター長及び生産基盤工学専攻主任(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部機械電気系教授	星野 洋平	オホーツク農林水産工学連携研究推進センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部社会環境系教授	高橋 清	地域と歩む防災研究センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部地域国際系教授	藤井 享	社会連携推進センター長、知的財産センター長及び地域国際系長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部応用化学系教授	大津 直史	共用設備センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部機械電気系教授	裡 しゃりふ	ものづくりセンター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部地域国際系教授	本間 圭一	国際交流センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部情報通信系教授	升井 洋志	情報処理センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部機械電気系教授	奥村 貴史	保健管理センター長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部社会環境系教授	早川 博	技術部長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部社会環境系教授	亀田 貴雄	地球環境工学科長(任期:令和6年3月31日まで)

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
〃	工学部応用化学系教授	新井 博文	地域未来デザイン工学科長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部機械電気系教授	小原 伸哉	機械電気系長及び機械電気工学専修プログラム長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部社会環境系教授	八久保 晶弘	社会環境系長及び社会環境工学専修プログラム長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部情報通信系教授	三浦 則明	情報通信系長、工学専攻主任及び情報通信工学専修プログラム長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部応用化学系教授	小西 正朗	応用化学系長及び応用化学専修プログラム長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部基礎教育系教授	柳 等	基礎教育系長及び共通基盤長(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部応用化学系教授	松田 剛	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻主任(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部応用化学系教授	菅野 亨	医療工学専攻主任(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部基礎教育系教授	戸澤 隆広	各専攻共通主任(任期:令和6年3月31日まで)
〃	工学部応用化学系教授	大野 智也	工学部機械電気系教授
〃	工学部社会環境系准教授	中村 大	工学部社会環境系教授
〃	工学部社会環境系准教授	宮森 保紀	工学部社会環境系教授
〃	工学部応用化学系准教授	平井 慈人	工学部機械電気系准教授
〃	工学部機械電気系助教	楊 亮亮	工学部機械電気系准教授
〃	工学部基礎教育系講師	クラロ, ジェニファー スーザン	工学部基礎教育系准教授
〃	工学部地域国際系助教	YU YATING	工学部地域国際系准教授
〃	(新規採用)	(いなば かずき) 稲葉 一輝	工学部機械電気系助教
〃	(新規採用)	(ごーしゅ あんくしゅ くまーる) GHOSH ANGKUSH KUMAR	工学部機械電気系助教
〃	(新規採用)	(すぎの よしと) 杉野 義都	工学部機械電気系助教
〃	(新規採用)	(しえん ぺん) SHENG PENG	工学部応用化学系助教
4. 4. 1	スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課課長補佐	(あんざい まさみ) 安齋 真実	北見工業大学事務部長

発令年月日	現職名	氏名	新職名（発令事項）
〃	総務課長	小林 和宏	北見工業大学事務部企画総務課長（監査室専門職員兼務）
〃	入試課長（係長兼務）	齊藤 敏浩	北見工業大学事務部管理課長
〃	施設課長	尾崎 直	北見工業大学事務部管理課施設管理室長（事務局施設企画課課長補佐兼務）
〃	研究協力課長	柴田 俊成	北見工業大学事務部研究協力課長
〃	学務課副課長	内山 彰	北見工業大学事務部教務課長（事務局経営企画課大学連携室教育推進係兼務）
〃	学務課長（学生支援室長兼務）	清野 千春	北見工業大学事務部学生支援課長（学生支援係長及び就職活動支援係長兼務）
〃	情報図書課長	田邊 千雪	北見工業大学事務部情報図書課長（事務局経営企画課大学連携室情報基盤係兼務）
〃	総務課副課長	菊池 一修	北見工業大学事務部企画総務課課長補佐
〃	財務課副課長	森本 典宏	北見工業大学事務部管理課課長補佐
〃	施設課副課長	大野 庄也	北見工業大学事務部管理課施設管理室室長補佐（事務局施設企画課施設企画係長兼務）
〃	学務課副課長（係長兼務）	川島 恵也	北見工業大学事務部教務課課長補佐
〃	総務課係長	中山 美雪	北見工業大学事務部企画総務課専門職員
〃	総務課係長	白鳥 善裕	北見工業大学事務部企画総務課総務係長
〃	総務課係長	上野 祐輔	北見工業大学事務部企画総務課人事係長
〃	総務課係長	尾谷 綾子	北見工業大学事務部企画総務課学科事務係長
〃	財務課係長	原 勇介	北見工業大学事務部管理課予算係長
〃	財務課係長	反保 聡史	北見工業大学事務部管理課調達係長
〃	財務課主任	源藤 拓也	北見工業大学事務部管理課経理係長
〃	施設課係長	本庄 哲朗	北見工業大学事務部管理課施設管理室施設企画係長
〃	施設課係長	上妻 武広	北見工業大学事務部管理課施設管理室建築係長
〃	施設課係長	佐野 文則	北見工業大学事務部管理課施設管理室機械設備係長

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
〃	施設課係長	江藤 祥太	北見工業大学事務部管理課施設管理室電気設備係長
〃	総務課係長	小松 加寿美	北見工業大学事務部研究協力課研究協力係長
〃	学務課学生支援室係長	松家 奈津美	北見工業大学事務部研究協力課産学連携係長
〃	研究協力課係長	山本 至	北見工業大学事務部研究協力課地域連携係長
〃	研究協力課係長	上野 智子	北見工業大学事務部研究協力課国際交流係長
〃	学務課係長	山本 真理恵	北見工業大学事務部教務課教務企画係長
〃	学務課係長	森原 早紀	北見工業大学事務部教務課修学支援係長
〃	入試課係長	秋元 宏太	北見工業大学事務部教務課入学試験係長
〃	学務課学生支援室係長	後藤 将大	北見工業大学事務部学生支援課進路選択支援係長
〃	情報図書課係長	原 亜喜子	北見工業大学事務部情報図書課総務係長
〃	北海道大学附属図書館研究支援課係長 (医系グループ・歯学部図書担当)	(こだま ようこ) 児玉 陽子	北見工業大学事務部情報図書課目録管理係長
〃	情報図書課係長	白鳥 和枝	北見工業大学事務部情報図書課利用サービス係長
〃	学務課主任	田中 大貴	北見工業大学事務部教務課修学支援係主任
〃	情報図書課主任	八田 この実	北見工業大学事務部学生支援課就職活動支援係主任
〃	学務課学生支援室事務職員	西野 智恵里	北見工業大学事務部企画総務課企画係員
〃	総務課事務職員	和田 晃明	北見工業大学事務部企画総務課総務係員
〃	総務課事務職員	長塚 康大	北見工業大学事務部企画総務課広報戦略係員
〃	(新規採用)	(たけした かりん) 竹下 花梨	北見工業大学事務部企画総務課広報戦略係員
〃	総務課事務職員	佐藤 響	北見工業大学事務部企画総務課人事係員
〃	財務課事務職員	山上 雅之	北見工業大学事務部管理課予算係員
〃	財務課事務職員	道見 怜奈	北見工業大学事務部管理課調達係員

発令年月日	現職名	氏名	新職名（発令事項）
〃	財務課事務職員	宮田 真美	北見工業大学事務部管理課調達係員
〃	財務課事務職員	蠣崎 捷太	北見工業大学事務部管理課経理係員
〃	(新規採用)	(つちあか まいこ) 土赤 麻衣子	北見工業大学事務部管理課経理係員
〃	施設課事務職員	岩城 恵	北見工業大学事務部管理課施設管理室施設企画係員
〃	研究協力課事務職員	田淵 穂乃香	北見工業大学事務部研究協力課研究協力係員
〃	研究協力課事務職員	泊 晋	北見工業大学事務部研究協力課産学連携係員
〃	研究協力課事務職員	上澤 森	北見工業大学事務部研究協力課国際交流係員
〃	情報図書課事務職員	今野 由貴	北見工業大学事務部研究協力課国際交流係員
〃	学務課事務職員	弦巻 香澄	北見工業大学事務部教務課教務企画係員
〃	(新規採用)	(もりた ひな) 森田 妃奈	北見工業大学事務部教務課教務企画係員
〃	学務課事務職員	玉井 健太	北見工業大学事務部教務課修学支援係員
〃	入試課事務職員	竹内 千枝美	北見工業大学事務部教務課入学試験係員
〃	研究協力課事務職員	尾谷 修斗	北見工業大学事務部教務課入学試験係員
〃	学務課学生支援室事務職員	影浦 隆之	北見工業大学事務部学生支援課学生支援係員
〃	北海道教育大学旭川校室教育支援グループ	牧野 立夜	北見工業大学事務部学生支援課学生支援係員
〃	(新規採用)	(さとう あみ) 佐藤 亜海	北見工業大学事務部情報図書課利用サービス係員
〃	財務課係長	工藤 圭輔	事務局経理課課長補佐（経理第一係長及び北見工業大学事務部管理課課長補佐兼務）
〃	戦略企画室係長	三宮 智仁	事務局総務課専門員（総務係長兼務）
〃	研究協力課副課長（係長兼務）	松沼 拓夫	事務局経営企画課大学連携室室長補佐（研究推進係長兼務）
〃	財務課係長	尾河 康典	事務局経営企画課決算係長（北見工業大学事務部管理課専門職員兼務）
〃	総務課係長	中村 圭吾	事務局総務課人事第一係長

発令年月日	現職名	氏名	新職名（発令事項）
〃	総務課主任	遠藤 珠江	事務局総務課広報法規係主任
〃	入試課主任	原田 壮志	事務局総務課人事第二係主任
〃	財務課事務職員	宮崎 廉	事務局経営企画課企画係員（北見工業大学事務部管理課経理係員兼務）
〃	学務課事務職員	山本 太一	事務局経理課経理第一係員
〃	財務課事務職員	高橋 謙太	事務局経理課経理第二係員（北見工業大学事務部管理課経理係員兼務）
〃	技術部教育研究支援グループ長	杉野 豪	技術部副部長
〃	技術部教育研究支援グループ技術専門職員	山田 洋文	技術部教育研究支援グループ長
〃	（新規採用）	（しらかわ じゅんこ） 白川 純子	保健管理センター特定専門職（カウンセラー）

= 受賞 =

本学大学院生が日本光学会北海道支部学術講演会発表奨励賞を受賞

(博士前期課程 工学専攻)

1月8日(土)～9日(日)にオンラインで開催された、第57回応用物理学会北海道支部/第18回日本光学会北海道支部合同学術講演会において、本学大学院生の福井彩さん(博士前期課程 工学専攻 情報通信工学プログラム1年、主指導教員:酒井大輔准教授)が、日本光学会北海道支部学術講演会発表奨励賞を受賞しました。

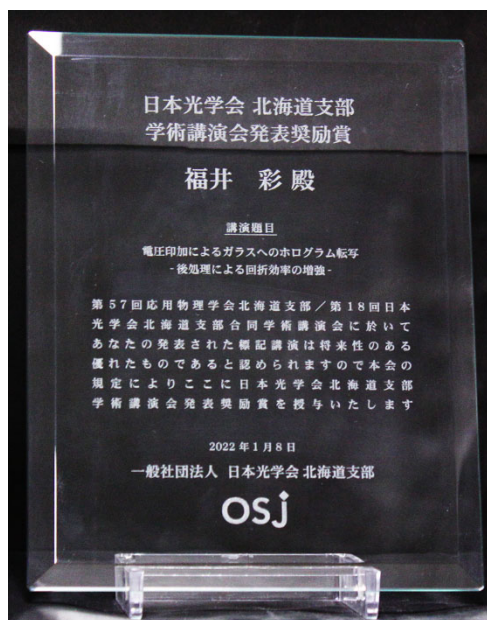
本学会は応用物理学会と日本光学会それぞれの北海道支部が共同で毎年開催しており、本賞は光学分野で優れた発表を表彰するものです。

福井さんは、「電圧印加によるガラスへのホログラム転写-後処理による回折効率の増強-」という題目で口頭発表を行いました。これは身近で透明なガラスへホログラムを記録することができる技術について研究したものです。従来必要としていた放電処理を必要とせずにより明るいホログラムを作製できるという独自技術について発表したもので、この研究成果の将来性が認められての受賞となりました。なお、本研究はJSPS 科研費 21K04706(研究代表者:酒井大輔)の助成を受けたものです。

受賞題目:電圧印加によるガラスへのホログラム転写-後処理による回折効率の増強-
講演者:福井彩、酒井大輔、原田建治



受賞した福井さん



ガラス盾

本学大学院生が第31回化学工学・粉体工学研究発表会において学術奨励賞を受賞

(博士前期課程 バイオ環境化学専攻)

1月21日(金)～22日(土)にオンラインで開催された第31回化学工学・粉体工学研究発表会において、本学大学院生の吉田果菜子さん(博士前期課程 バイオ環境化学専攻2年、指導教員:小西正朗教授)が学術奨励賞(学生研究発表)を受賞しました。

本研究発表会は、化学工学会北海道支部・粉体工学会北海道談話会・化学工学北海道懇話会が主催し、一般社団法人北海道バイオ工業会の協賛で開催されるもので、その中で本賞は、学生が登壇・発表したものの中から優れた発表に対して贈られるものです。

吉田さんの発表タイトルは「深層学習-ベイズ最適化による効率的な培地探索」です。これは、大腸菌による異種タンパク質生産における培地の最適化検討をモデルとし、深層学習やベイズ最適化の適用による最適培地探索の効率化を検討したもので

す。ラテン方格による実験配置、深層学習による予測モデル構築、ベイズ最適化による最適培地組成を探索し、実験～最適化のステップを繰り返すことで、最適な培地組成が探索できることを明らかにしました。本研究結果はバイオ生産プロセスの開発の迅速化に寄与することで、バイオ生産の拡大やカーボンリサイクルの実現にも貢献できるものと期待され、吉田さんはそのプレゼンテーションや質疑応答の質が高く評価され、今回の受賞となりました。

なお、本研究の一部は国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合研究開発機構NEDOによる「カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発/カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発/データ駆動型統合バイオ生産マネジメントシステム(Data driven iBMS)の研究開発」による受託研究として実施されました。



受賞した吉田さん

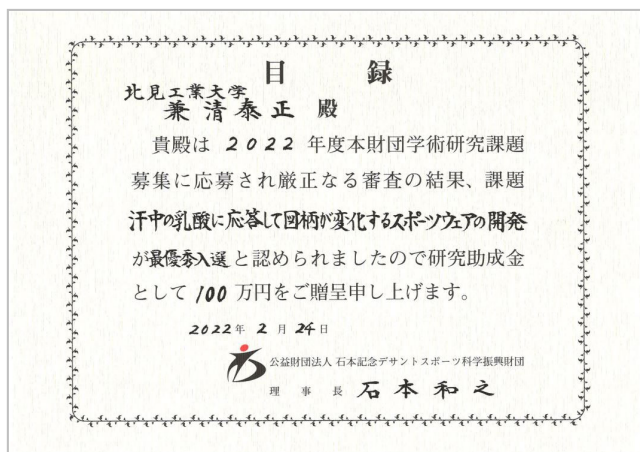
機械電気系の兼清泰正准教授が石本記念デサントスポーツ科学 振興財団学術研究募集で最優秀入選

(機械電気系)

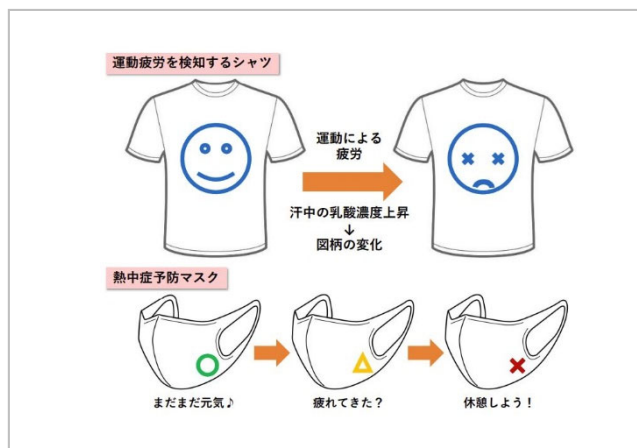
このたび公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団による学術研究募集において、機械電気系の兼清泰正准教授が最優秀入選し、研究助成金 100 万円が贈呈されました。

本学術研究募集は、スポーツ関連科学に関する学術の研究を奨励・援助し、健全な

体育・スポーツの振興・発展に寄与するため実施されるもので、第一部「課題学術研究」と第二部「自由課題学術研究」からなります。兼清准教授は「汗中の乳酸にตอบสนองして図柄が変化するスポーツウェアの開発」という研究課題名で第二部に応募し、今回の入選となりました。



目録



汗中の乳酸にตอบสนองして図柄が変化する
スポーツウェアの開発

本学大学院生が一般社団法人表面技術協会第 144 回講演大会で 第 10 回学生優秀講演賞を受賞

(博士前期課程 マテリアル工学専攻)

昨年 9 月 16 日 (木) ~17 日 (金) にオンラインにて開催された一般社団法人表面技術協会第 144 回講演大会で、本学大学院生の大原碩燿さん (博士前期課程 マテリアル工学専攻 2 年、指導教員: 川村みどり教授) が行った講演が、第 10 回学生優秀講演賞を受賞し、3 月 9 日 (水) にオンラインで開催された本会第 145 回講演大会内で表彰式が行われました。

本会では 40 歳以下の若手研究者を対象とした賞を設けており、今大会では 61 件の応募がありました。

大原さんの受賞題目は、「銀薄膜の表面

形態に及ぼす真空中での水蒸気及び酸素曝露の影響」です。真空装置内で作製した薄膜を大気に曝さず、制御した雰囲気中での変化を追跡するという極めて独創的な研究で、材料の劣化挙動に関する重要な知見を得てきました。大原さんはこの取り組みを卒業研究から修士論文研究に渡って続けてきており、学会ではその一部について発表しました。

大原さんは 4 月から社会人として、材料開発に携わることになっており、今後のご活躍を祈念致します。

受賞題目: 銀薄膜の表面形態に及ぼす真空中での水蒸気及び酸素曝露の影響
大原碩燿、川村みどり、阿部良夫、木場隆之



受賞した大原さん

応用化学系の小西正朗教授が化学工学会 2021 年度 フェロー表彰を受賞

(応用化学系)

このたび、応用化学系の小西正朗教授が化学工学会より 2021 年度フェロー表彰を受賞しました。

フェロー表彰は化学工学に 20 年間以上関わっている正会員、あるいは 10 年以上化学工学会に在籍する正会員、および会長が推薦する正会員個人で、化学工学ならびに化学工学会の発展に貢献し、今後も寄与する個人に贈られるものです。受賞者には化

学工学会フェローの称号が与えられます。

3 月 16 日 (水) ~18 日 (金) に開催された化学工学会第 87 年会において授賞式が行われ、賞状等が授与されました。

小西教授は、化学工学分野での研究業績、化学工学会における学会誌編集委員・支部活動等が評価され、今回の受賞となりました。

[化学工学会賞 2021 年度 \(令和 3 年度\) ページはこちら](#)

(公益社団法人化学工学会ホームページ)



受賞した小西教授

本学大学院生が令和3年度土木学会北海道支部技術研究発表会において優秀学生講演賞を受賞

(博士前期課程 社会環境工学専攻)

このたび、本学大学院生の松本日和さん（博士前期課程 社会環境工学専攻2年、指導教員：川口貴之教授）が、令和3年度土木学会北海道支部技術研究発表会において、優秀学生講演賞を受賞しました。

この賞は、北海道支部年次技術研究発表会において、土木技術や研究成果等について優れた講演を行ったと認められるものの中から選ばれる賞です。

松本さんの受賞論文は「補強土壁の新たな品質管理と健全性評価手法に関する検討」で、試験用の実大アンカー補強土壁を構築

し、補強材から取得されるトルクデータを活用して、施工時の新たな品質管理手法や竣工後の維持管理及び健全性評価手法について検討したものです。

受賞した成果は、本学地域と歩む防災研究センター/SAFER で取り組んでいる積雪寒冷環境における地盤防災・減災技術の研究・開発に関するものです。今後も様々な分野の教員が所属するセンターとしてのメリットを活かした教育研究を進め、地域の防災力向上に資する研究成果を社会に還元していきます。



受賞した松本さん

本学大学院生が令和3年度地盤工学会北海道支部賞 (学生部門)を受賞

(博士後期課程 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻)

(博士前期課程 社会環境工学専攻)

このたび、本学大学院生の小笠原明信さん（博士後期課程 寒冷地・環境・エネルギー工学専攻3年、主指導教員：川尻峻三准教授）、古矢達也さん（博士前期課程 社会環境工学専攻2年、指導教員：川口貴之教授）が、公益社団法人地盤工学会北海道支部より、令和3年度地盤工学会北海道支部賞（学生部門）を受賞しました。

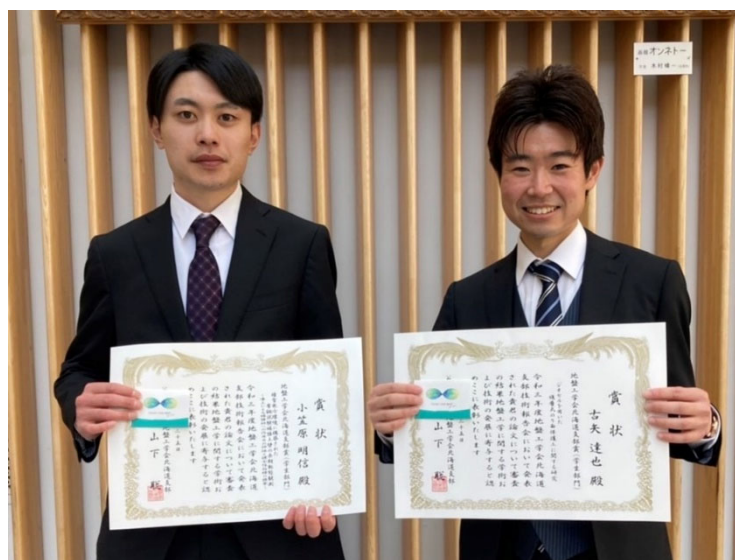
この賞は、地盤工学会北海道支部発行の「技術報告集」に掲載された論文の中から、研究内容に加えて学会発表時のプレゼンテーション力についても評価の対象となって選出されるものです。

受賞者及び論文タイトルは以下の通りです。

小笠原明信：積雪寒冷環境に構築された帯鋼試験補強土壁の長期動態観測～凍上による補強材材への作用力の評価と健全性指標の提案～

古矢達也：ジオセルを用いた複層式のり面保護工に関する研究

両論文ともに、本学地域と歩む防災研究センター/SAFER で取り組んでいる積雪寒冷環境における地盤防災・減災技術の研究・開発に関するものです。今後も様々な分野の教員が所属するセンターとしてのメリットを活かした教育研究を進め、地域の防災力向上に資する研究成果を社会に還元していきます。



(左から) 小笠原さん、古矢さん

本学学生が電気学会北海道支部賞を受賞

(地球環境工学科エネルギー総合工学コース)

3月18日(金)、本学学生の村上輝さん(地球環境工学科エネルギー総合工学コース4年)が、電気学会北海道支部賞を受賞しました。

この賞は、エネルギー総合工学コースの学生の中で、電気系に関する研究を行っている優れた学生に与えられる賞です。村上さんは、4年生でありながら、電気・情報関係学会北海道支部連合大会に参加し、自分の卒業研究である「レタス栽培における電気照射の効果」について研究発表を行いました。この研究は、植物工場などで行われている水耕栽培のレタスの生育を電気照射により促進するというものであり、栽培過程を短縮してたくさんの植物を収穫する

ことを可能にする技術となることから、大きな注目を集めています。この研究は本学地球環境工学科エネルギー総合工学コース、そしてオホーツク農林水産工学連携研究推進センターにも所属している武山眞弓教授及び佐藤勝准教授の指導のもとで遂行しています。さらに、この賞を受賞したことで、本学からミント賞も授与されました。

村上さんは、大学院へ進学し、集積エレクトロニクス研究室でこれからもスマート農業に関連した研究を続けていくので、本学大学院進学後のさらなる飛躍が期待されます。



受賞を喜ぶ村上さん

本学大学院生が電子情報通信学会北海道支部学生奨励賞を受賞

(博士前期課程 電気電子工学専攻)

3月18日(金)、本学大学院生の梅村壮一郎さん(電気電子工学専攻2年)が、電子情報通信学会北海道支部学生奨励賞を受賞しました。

この賞は、電子・情報・通信の分野において優れた業績を持つ学生で、かつ、さらなる飛躍が期待される学生に与えられる賞です。梅村さんは、電子情報通信学会電子部品・材料研究会やソサイエティ大会などで多くの研究成果を発表しました。中でも、害獣として駆除とジビエ利活用が求められているエゾシカ肉の臭みをとって柔らかくおいしくしたり、短い期間で熟成する研究を本学地球環境工学科エネルギー総合

工学コース、そしてオホーツク農林水産工学連携研究推進センターにも所属している武山眞弓教授及び佐藤勝准教授の指導のもとで遂行し、その研究内容が多くの方から注目を集め、本学からは唯一の受賞者となりました。さらに、本学からミント賞も授与されました。

また、梅村さんはこの大学院での研究を遂行するために、ハンターの資格を取得し、猟友会の一員としてエゾシカの駆除に参加したり、オホーツク管内の企業に就職して、本学との共同研究にも参加して活躍する予定です。梅村さんの今後のさらなる飛躍が期待されます。



受賞を喜ぶ梅村さん

= 諸報 =

SAFER の白川龍生准教授が札幌市内の積雪調査を実施

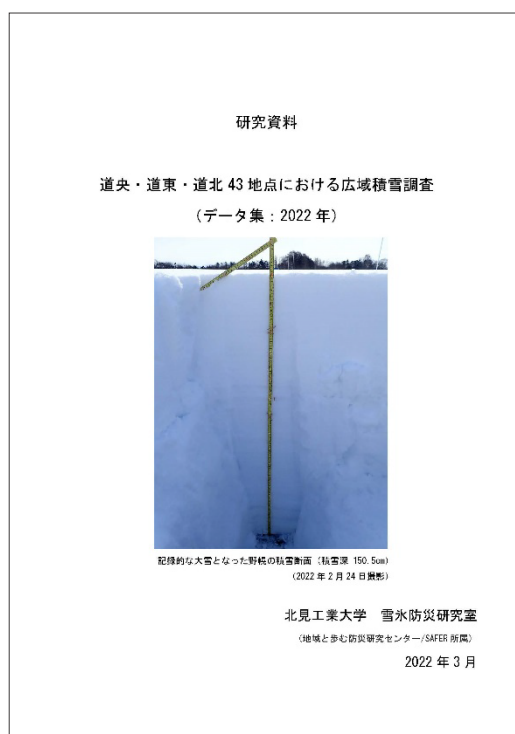
(地域と歩む防災研究センター)

2022年2月5日(土)から6日(日)にかけて記録的大雪となった札幌市の積雪状況を把握するため、地域と歩む防災研究センター(通称:SAFER)突発災害調査研究部門の白川龍生准教授が、2月12日(土)に札幌市内で積雪調査を実施しました。

白川准教授は日本雪氷学会北海道支部会員と分担し、豊平区内の月寒公園パークゴルフ場にて積雪断面観測を実施しました。積雪深は108cm、積雪水量(積雪を融かし

て水にしたときの水深)は315mmで、いずれもこの時期の札幌市内としては高い値です。また、札幌市中央区、豊平区、南区内の数カ所にて、道路脇の雪山(高さ2~3m)や道路幅員について、市街地の実地調査を行いました。

調査結果の詳細については、本学学術機関リポジトリ(KIT-R)から閲覧することができます。



KIT-R (北見工業大学 学術機関 リポジトリ)

<https://kitami-it.repo.nii.ac.jp/>

(タイトルまたは「SAFER」「白川」などと検索すると閲覧できます)

学生表彰式を挙行

(学 務 課)

令和4年3月9日(水)に成績優秀学生及びミント賞の受賞者に対する令和3年度学生表彰式をコミュニケーションアトリウムにおいて行いました。今年度は学長賞の該当者はありませんでしたが、成績優秀学生は優秀な成績を収めた学生13人、ミント

賞は学会等から表彰を受けた学生や障がい学生支援等の社会福祉活動に貢献した学生14人と1団体が表彰されました。

鈴木聡一郎学長から表彰状並びに記念品の贈呈が行われ、お祝いの言葉が述べられました。

成績優秀学生

氏名	所属コース・専攻
山内 啓嵩	エネルギー総合工学コース
石井 日菜	環境防災工学コース
森 日々輝	先端材料物質工学コース
小山 将平	機械知能・生体工学コース
上見 拓也	情報デザイン・コミュニケーション工学コース
稲木 万玲	社会インフラ工学コース
柳原 愛	バイオ食品工学コース
山口 天愛	機械工学専攻
松岡 龍祐	社会環境工学専攻
西川 真衣	電気電子工学専攻
蘆田 悠輔	情報システム工学専攻
吉田 果菜子	バイオ環境化学専攻
宇賀神 舞	マテリアル工学専攻

ミント賞

氏名等	所属学科・専攻
石井 日菜	地球環境工学科
村上 輝	地球環境工学科
上見 拓也	地域未来デザイン工学科
幸谷 宥毅	工学専攻
五郎部 生成	工学専攻
引地 祥太	工学専攻
矢作 大輔	工学専攻
小山 真輝	社会環境工学専攻
本田 佳広	社会環境工学専攻
古矢 達也	社会環境工学専攻
松下 功志郎	社会環境工学専攻
梅村 壮一朗	電気電子工学専攻
佐藤 孝政	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻
DAGVADORJ OTGONJARGAL	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻
フードバンク実行委員会	—



学生表彰式の様子



記念写真(撮影時のみマスク非着用)

事務職員のための講演会を実施

(総務課)

3月17日(木)、令和3年度事務職員のための講演会を開催しました。

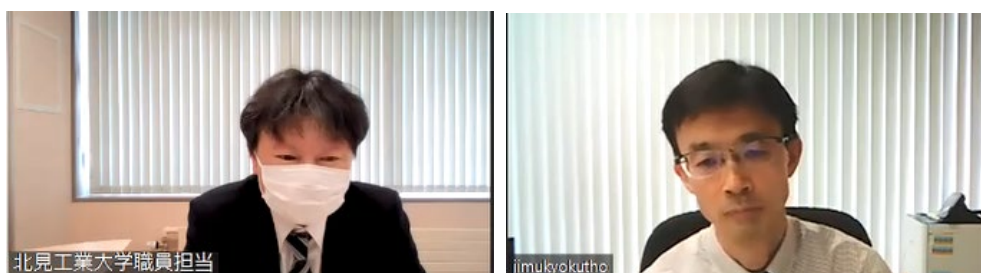
この講演会は、事務職員の資質向上を目的とした研修の一環として従来から開催しており、外部講師による国立大学事務職員として求められる知識・感覚・能力等についての講演等を通じて、事務職員としての自覚を促し、更に業務及び業務見直しへの一助とすることを目的に全ての事務職員を対象として毎年実施しています。

今年度は講師として、文部科学省高等教育局国立大学法人支援課課長補佐の中田幸

志氏を招き、「令和4年度国立大学法人運営費交付金予算(案)と今後の展開について」と題した講演が行われました。

中田氏は講演の中で、令和4年度予算における共通指針及び配分指針、国立大学経営の方向性を踏まえた上で、国立大学の今後の展開について、分かりやすくご講演いただきました。

今回の講演会は、参加した職員一人一人が本学の強みや特色を常に意識しつつ業務に取り組むことの重要性を改めて認識する貴重な機会となりました。



オンラインにより講演する中田氏(上)と参加者

JA つべつとの連携協力に関する基本協定を締結

(研究協力課)

2022年3月24日、津別町農業協同組合(以下 JA つべつ)にて、本学との連携協力に関する基本協定書の調印式を実施しました。本協定は、平成29年に締結したオホーツク農業協同組合長会との包括連携協定をもとに本学と JA つべつで実施されている取り組みについて、より進化(深化)させることを目的として締結しました。

具体的には、地域の農業等の振興、スマート農業、試験圃場の提供、教育及び人材育成、留学生を中心とした国際交流、雇用創出・就業支援、地域経済の活性化、SDGsへの取り組みなどを、今後も積極的に進め、本学と津別町さらにはオホーツク地域の発展を目指すため、今回の基本協定を結ぶこととなりました。

調印式において、鈴木聡一郎学長は「大学が持つ研究シーズを第一次産業の工学的支援へと展開することでシナジーイノベーションを起こし、地域が培ってきた技術の継承と発展や地域固有の課題解決を目指したい」と述べ、JA つべつ佐野成昭代表理事組合長は「固定概念を取り払った新たな研究・実証・実装に向け北見工業大学との関

わりをより一層強め、地域の課題解決を推進していきたい」と抱負を述べられました。また、ご来賓のオホーツク総合振興局の畠山透産業振興部長からはオホーツク地域の第一次産業の発展に期待が込められたご祝辞をいただきました。

調印式終了後は、JA つべつの組合員など関係者も参加し、研究発表会を実施しました。

研究発表会では、オホーツク農林水産工学連携研究推進センター(通称:CAFFÈ)の村田センター長、星野副センター長、宇都正幸准教授、浪越毅准教授、楊亮亮助教からこれまで共同で取り組んできた研究内容や、インターンシップ、関連会議でのオブザーバー参加などの実施を報告し、会の終了後には参加者の皆様から、個別の相談や期待の言葉などをお声掛けいただきました。

今回の基本協定の締結により、これまでの取り組みと協力体制をより強固かつ継続的なものへと発展させることが期待されており、今後の取り組みに注目が寄せられています。



関係者らによる記念撮影



研究発表会の様子

FD・SD 講演会を開催

(広報戦略室)

3月25日(金)、広報戦略室主催による学内教職員向けのFD・SD講演会を開催しました。

講演会は広報戦略室が目標としている「北見工業大学のブランディング構築」に向けて、本学の魅力度向上とプレゼンス向上への取り組みの一つとして実施しました。

大学のブランディング構築のためには、教職員一人一人が本学の魅力、強み、存在意義を考え共創する意識の向上が不可欠となります。ブランディングとは何か、なぜ必要か、どのように情報発信するか、などについて、株式会社日経BPコンサルティングブランド本部副本部長兼ブランドコミュニケーション部長兼大学ブランド・デザインセンター長の吉田健一氏から、プロの視点でお話をいただきました。

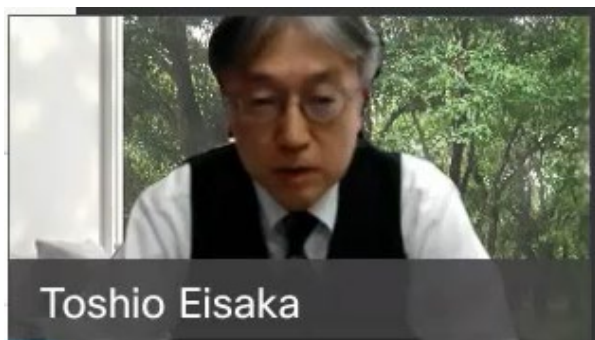
オンラインによる講演会には、教職員90

人ほどが受講しました。

はじめに広報戦略室長の榮坂副学長から挨拶の後、内島副室長から広報戦略室活動の概略について説明がありました。その後、講師の吉田氏から「選ばれる、魅力的な大学へ。全学広報とブランドづくりについて」と題して、北海道民が感じている本学へのイメージ評価、北見工業大学の価値高さ、大学のブランディングとは何か、などについてご講演いただきました。

この講演会は、教職員が「北見工業大学」の魅力や存在意義を考える機会となり、今後のブランディング構築に向けて大変有意義な時間となりました。

本年4月に発足する北海道国立大学機構においても、小樽商科大学、帯広畜産大学、本学の商・農・工の三大学の魅力や強みを積極的に発信していきたいと思っております。



オンライン上で挨拶する榮坂広報戦略室長



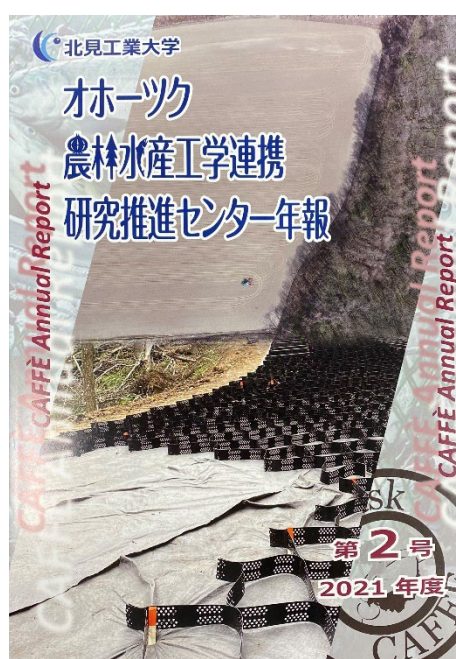
講師の吉田 健一 氏

CAFFÈ 年報第 2 号を発行

(オホーツク農林水産工学連携研究推進センター)

オホーツク農林水産工学連携研究推進センター（通称：CAFFÈ）では、センター所属の先生方の尽力により教育研究活動を確実に進めることができ、第 2 号となります令和 3 年度オホーツク農林水産工学連携研究推進センター年報をまとめ、発刊しました。当センターでは、今後もオホーツク地域

の第一次産業の技術変革のため、地域のニーズに沿った研究に努めてまいります。この年報を通じて、当センターの活動にご理解を賜りますとともに、今後のさらなる発展のために、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。



年報の入手については研究協力課研究協力係(0157-26-9157)までお問い合わせください

SAFER 年報第 2 号を発行

(地域と歩む防災研究センター)

地域と歩む防災研究センター（通称：SAFER）では、センター所属メンバーの尽力により、本年度も SAFER での教育・研究活動を確実に推し進めることができ、「SAFER R&D Report Vol. 2」を発刊しました。

今後も SAFER では、地球規模での気候変動に対応できる防災技術の研究・開発と人

材育成・輩出について、地域への社会貢献・技術の実装を念頭に取り組んでまいります。今年度の SAFER R&D Report を通し、SAFER の活動にご理解を賜りますとともに、関係者の皆様からの忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。



年報の入手については研究協力課研究協力係(0157-26-9157)までお問い合わせください

= 日誌 =

2 月

- 4日 入学者選抜委員会
- 8日 大学院博士後期課程入学試験（第2回募集）
- 9日 大学院博士前期課程入学試験（第2回募集）
- 14日 入学者選抜委員会
- 15日 入学者選抜委員会
- 16日 教育研究評議会、役員会、私費外国人留学生入学試験合格発表、大学院入学試験（第2回）合格発表
- 18日 学生委員会、合同企業研究会（～20日）
- 21日 教務委員会
- 24日 学術情報機構統括会議
- 25日 広報戦略室会議
- 28日 入学試験実施委員会、編入学・大学院入学手続き（～3月7日）、学術情報委員会

3 月

- 3日 入学者選抜委員会
- 4日 教務委員会
- 5日 入学者選抜委員会
- 6日 一般選抜「前期日程」合格発表
- 7日 教授会（書面審議）、研究科委員会（書面審議）、一般選抜「前期日程」・私費外国人入学手続き（～15日）
- 9日 学生表彰式
- 12日 一般選抜「後期日程」入学試験
- 15日 教育研究評議会
- 16日 経営協議会、役員会
- 17日 アドミッションセンター運営会議、入学者選抜委員会
- 18日 学位記授与式
- 19日 入学者選抜委員会
- 20日 一般選抜「後期日程」合格発表
- 21日 一般選抜「後期日程」入学手続き（～26日）
- 23日 入学者選抜委員会
- 24日 教務委員会
- 25日 FD・SD講演会
- 26日 一般選抜「後期日程」追試験合格発表
- 27日 一般選抜「後期日程」追試験入学手続き（～30日）